

## 令和6年度 第7回 伊予市行政評価委員会 会議録

日 時：令和7年2月26日（水）18時25分～19時05分

場 所：伊予市庁4階大会議室

出席者：倉澤生雄委員長、西田和真副委員長、牧本公明委員、戸田雅博委員、楠本  
亜由美委員、山邊彰三委員

事務局：企画振興部企画政策課（向井功・北岡・向井英・曾我部）

傍聴者：なし

### 1 開会

会議の成立を確認した。

### 2 議事

(1) 【報告】令和6年度事務事業評価の最終結果について

(2) 【説明】事務事業マネジメントシートについて

(3) その他

### 3 閉会

## 2 議事

### (1) 【報告】令和6年度事務事業評価の最終結果について (事務局)

令和6年度事務事業評価の最終結果について説明する。

まず、「令和6年度に実施した事務事業評価結果 報告書」をご覧いただきたい。令和6年度に新たな手法によってモデル実施した22の事務事業の評価結果を掲載している。表紙をめくって1、2ページに「報告書の見方」として、事務事業評価の手法等の説明を記載している。3ページ以降が評価概要の一覧となっており、それぞれの事務事業に対し、左側から担当課、事業タイプ、自己判定から最終評価までの判断を記載している。事務事業を把握するための参考情報として前年度の決算額、人工数及び担当課による事業遂行に係る課題・改善点の欄を設けている。

整理番号 No. 1 広報紙発行事業の外部評価の欄に、「別冊P1のとおり」とある。資料「令和6年度 行政評価 外部評価結果」をご覧いただきたい。資料の1ページ目に該当事業の事務事業評価シートが掲載されており、2ページ目にその外部評価結果が記載されているということである。内容については、既に確認いただいたものである。

次に、「令和6年度事務事業評価結果【簡易評価】」について説明する。簡易評価を実施する政策的事業【義務】及び施設維持管理等事業の評価結果として、事務事業評価シートを掲載している。令和6年度は13の事務事業に対しモデル実施している。本来であれば、行政評価委員会での報告案件ではないが、新たな手法によるシート構成等を確認するため、議案とした。

シート構成を説明する。簡易評価は、市民に対する事務事業の実績報告を目的としてシート構成となっており、外部評価において審議した詳細評価のシートとは簡易なものとなっており、1ページで収まる内容である。

「事務事業の概要・基本情報」から「事業活動への投入コスト・人員」までの項目は、詳細評価のシートと共通である。「事業活動の実績」及び「事業活動の成果」の項目は、詳細評価に比べて簡易な内容となっている。

本年度のモデル実施の結果として三つの報告書を、併せて事務事業評価の見直しに係る資料を令和6年12月に開催された市議会全員協議会で報告した。報告内容については、議員から特段の意見はなく、滞りなく受理されている。

## (2) 【説明】 事務事業評価マネジメントシートについて

### (事務局)

本日配布の資料をご覧いただきたい。本年度のモデル実施をとおり、各委員からの意見やシート作成を担当した職員の声を生かし、シート構成を変更したため、変更点を説明する。

～事務事業マネジメントシートの変更点を事務局から説明～

- 3年間の進捗管理の中でしっかりと事務事業に向き合ってもらいたいという思いを込めて、シートの名称を「事務事業評価シート」から「事務事業マネジメントシート」に変更。
- 「事務事業の概要・基本情報」に、「連携事業及び関連事業の有無」（詳細評価のみ）と「本事業とSDGsとの関連性」をまとめた。
- 「事業活動の実績」について。事業の規模や在り方を正確に把握するのを助けるための指標を提示できるよう、「達成度」の欄で「事業把握のための実数」を新たに選択できるように変更。この場合、あくまで実数であるため、目標値の入力を必要としない。
- 「事業活動の成果」について。詳細評価は大きく変更。これまでは成果指標を一つだけ設定していたが、的を射た指標が設定できていないケースが多く、設定された指標では成果測定ができないとの意見が多くあった。そのため、当該事務事業によって生み出される成果をまず文章で表現し、それにリンクする形で指標を設定するように様式変更した。また、想定される成果が定性的なものであれば、指標を無理に設定せずに、文章で表現できるように様式変更した。

変更後の様式を運用版として、令和7年度以降の事務事業評価を実施していく。

### (委員長)

事務局から説明があった内容について、各委員から御意見・御感想を頂きたい。

モデル実施の課題や反省を踏まえて、ブラッシュアップされた内容となっている点は評価できる。本シートを運用版としてよろしいか。

〔「賛成」と呼ぶ者あり〕

それでは、次年度以降の運用をお願いする。

## (3) その他

### (企画振興部長)

本日の委員会が第9期最後の委員会となるため、一言挨拶申し上げる。

委員の皆さんには、御多忙の中、行政評価委員会に出席いただきましたこと、厚くお礼を申し上げます。

令和6年7月3日から始まった今年度の委員会も本日で終了となる。委員の皆さんには、本市の行政運営に関し専門的かつ多角的な視点から貴重な御意見・御提言を頂きました。心より感謝申し上げます。

今年度は特に、事業タイプ、評価サイクル、評価種別から評価シートまで新たな手法でのモデル実施であったが、外部評価に付された15の事務事業について、詳細な分析と評価をしていただいた。

その結果は、今後の市政運営において大いに参考となるものであり、市民サービスの向上に繋がるものと確信している。

委員の皆さんには、限られた時間の中で熱心に審議いただき、実りある議論を重ねていただいたこと、改めて感謝を申し上げます。

今期をもって、副委員長が退任となる。委員就任から10年もの長きにわたり、本市の行政評価の発展に尽力いただいた。豊富な経験と知識に裏打ちされた意見は、常に私たちの指針となるものであった。心より感謝申し上げます。

また、公募の市民委員2人も今期で退任となる。市民目線での意見に加え、会を重ねるごとにバージョンアップされた鋭い指摘などもあり、私たちも様々な気づきを得ることができた。厚くお礼を申し上げます。

最後に、皆さんの御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げ、市政への引き続きの御理解と御協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

(委員長)

退任される委員からも一言ずつ挨拶をお願いしたい。

～今期で退任される3人の委員から挨拶～

### 3 閉会

(委員長)

これで第9期の任期が終わるということである。ほかに何もないようであれば、以上で本日の議事を終了する。2年間の御協力に感謝申し上げます。